

寛永寺創建四百周年 根本中堂天井絵奉納記念
手塚雄二展 雲は龍に従う



東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》 2023 年

【展覧会名】 寛永寺創建四百周年 根本中堂天井絵奉納記念 手塚雄二展 雲は龍に従う

※手塚先生の字は塚に点が入ったものになっております。ご注意ください。

【会 期】 2024 年 10 月 19 日（土）～11 月 17 日（日） 会期中無休

【開館時間】 午前 10 時～午後 8 時 ＊入館は閉館の 30 分前まで。
（そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます）

【主 催】 そごう美術館、日本経済新聞社

【後 援】 台東区、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、

【協 賛】 (株)そごう・西武

【特別協力】 東叡山寛永寺

【入館料】 （税込）事前予約不要

一般 1,400（1,200）円、大学・高校生 1,200（1,000）円、中学生以下無料

＊（ ）内は、前売、各種プレイガイドおよび以下をご提示の方の料金です。

〔クラブ・オン／ミレニアムカード、クラブ・オン／ミレニアム アプリ〕

＊障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者 1 名さまは無料でご入館いただけます。

＊前売券は、10 月 18 日（金）まで、そごう美術館または、セブンチケット、ローソンチケット、チケットぴあにてお取り扱いしております。

【そごう美術館 公式サイト】<https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>

【SNS】<https://twitter.com/sogomuseum>



《朝霧》2008 年

このたびそごう美術館は、東叡山寛永寺創建 400 周年 根本中堂天井絵の完成を記念して、
「手塚雄二展 雲は龍に従う」を開催いたします。手塚が紡ぎ出す豊かなイメージ世界から、作家自身の内なる美意識に迫り、
 新しい時代に寄り添う手塚芸術の「これから」を探る展覧会です。

1953 年神奈川県に生まれた手塚雄二は、東京藝術大学在学中に院展に初入選し、39 歳の若さで日本美術院同人に推挙されるなど、早くから画壇の中枢で活躍を続けてきました。また長年にわたり東京藝術大学の教授として後進の育成に力を注ぐなど、教育者としても確かな足跡を残しています。昨年には古希を迎え、ますます旺盛かつ縦横無尽に彩管を揮っています。その作風は伝統に軸足を置きながらもモダンスティックに展開し、斬新かつ洗練された無二のイメージを創り出してきました。



《創星那智》2002 年 国立大学法人電気通信大学蔵



《月葉》 2023 年

手塚の作品には、「華と寂」「写実と装飾」「古と今」「静と動」「刹那と永劫」など、つねに相反するテーマを行き来するようなポラリティー（両極性）に満ちています。振り子のように展開する画業は、これまでの日本画の可能性を大きく広げ、これからの日本画に向けて新しい価値観を提示し続けています。本展では、手塚が積み重ねてきた革新の道程を画家の重要作から紹介し、日々更新されていく日本画の未来をご覧ください。



《麗人》 2023 年



《花守》 2022 年



大きな見どころとして、手塚雄二の6×12メートルという長大な**寛永寺根本中堂奉納天井絵《叡嶽双龍》**が挙げられます。

手塚は、2020年より5年の年月をかけ、自身初となる水墨を用いて天井絵の制作に取り組みました。

数百年の時を経た天井板に直接描かれるもので、旧材をあえて活かすことにより「古」と「今」を結ぶ新たな試みです。

描き出される2頭の龍は手塚が初めて挑むモチーフで、コロナ禍、アトリエに籠って描いた夥しい数のスケッチの中から紡ぎ出された独自の図像です。そしてその神聖かつエネルギー溢れる龍の姿には、手塚雄二の平和への祈りが込められています。

本展は、2025年の東叡山寛永寺創建400周年を記念し制作された天井絵を奉納に先駆けて特別に披露するものです。
《叡嶽双龍》を間近に、さまざまな角度からご鑑賞いただくことができるまたとない機会となります。

【寛永寺について】

上野に位置する天台宗の大本山。寛永二（一六二五）年に、徳川幕府の安泰と万民の平安を祈願するため、慈眼大師天海大僧正によって建立されました。第四代将軍・徳川家綱の霊廟が造営されて将軍家の菩提寺も兼ね、山主を皇室から迎え格式と規模において我が国随一の大寺院となりました。江戸時代の敷地の大部分が、現在の上野公園となっています。

【イベント】ギャラリートーク「手塚雄二氏〈雲は龍に従う〉を語る」

手塚雄二氏が、天井絵の制作を中心に、展覧会についてお話をいたします。

会場：そごう美術館 展示室内

日時：10月26日（土）午後2時から

11月2日（土）午後2時から

* 申込不要、ただし本展入館券が必要です。

* 時間になりましたら会場入口にお集まりください

【広報画像一覧】

		
<p>東叡山寛永寺根本中堂奉納天井絵 《叡嶽双龍》2023 年</p>	<p>《創星那智》2002 年 国立大学法人電気通信大学蔵</p>	<p>《朝霧》2008 年</p>
		
<p>《花守》2022 年</p>	<p>《麗人》2023 年</p>	<p>《月葉》2023 年</p>

☆広報用画像は、ART PR にてお申し込みいただけます。下記 URL をご参照ください。

ART PR : <https://www.artpr.jp/sogomuseum>

本展の取材等につきましては、下記までご連絡ください。

ご取材いただいた際は、大変お手数ですが掲載紙 1 部 をご送付くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先：そごう美術館】 〒220-8510 神奈川県横浜市西区高島 2-18-1

Tel. 045-465-5515 / Fax. 045-465-2298

学芸担当：大塚保子 (yasuko-otsuka@sogo-seibu.co.jp)

寺田雅子 (masako-terada@sogo-seibu.co.jp)

広報担当：三瓶裕之 (hiroyuki-sampe@sogo-seibu.co.jp)